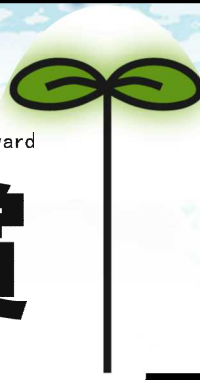


第35回

高知市

都市美 デザイン賞

Kochi City
Scenery Design Award



2019 受賞

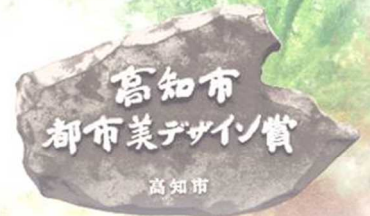
こころ豊かな景観を創り出すために

Kochi City Scenery Design Award

都市美とは・・・

「都市美」というと、造形的に美しい街並みを想像しがちですが、私たちの心に豊かさを与えてくれる自然、人の心づかいとふれあいのある風景も「まちの美しさ」のひとつではないでしょうか。

建築物、街並み、みどりや水辺などの自然環境と歴史、文化、優しさ、親しみなどの快適さを地域に調和させて美しく親しまれる都市景観、個性的で魅力ある都市空間を「都市美」と定義し、それを創造し、再生し、守っていきたいと考えています。



～選考を終えて～

令和元年度の都市美デザイン賞の応募は48通あり、審査物件が13件であった。その内訳は一般建築部門が10件、住宅建築部門が2件、街並み・まちづくり部門が1件であり、テーマ部門(橋梁、広告物、工作物等の建築物以外の構造物)は応募がなかった。選考の方法は、例年7月に一次審査(書類審査)を実施して部門ごとに5件程度を候補とし、8月の二次審査(現地調査)では部門ごとに入賞2件以内および特賞1件以内を選考していた。今年度は前年度に引き続いて一次審査を割愛し、8月にすべての審査物件の現地調査を実施して部門ごとに選考をおこなった。

一般建築部門は、平成31年2月に竣工した「福留開発新社屋」が受賞した。福留開発新社屋は、商業地域に建つ4階建ての鉄骨造の建物で、南側は堀川に面して開けており、鏡川大橋などから建物のファサード全体や周囲の風景を眺めることが可能である。外観は暗いグレーの地に白い格子のコントラストが映える端正な佇まいで、建物東側の小公園や堀沿いの樹木、水面に浮かぶ船などの周囲の景観とも調和し、これからの地域の景観をリードしていくことが見込まれる。

住宅建築部門、街並み・まちづくり部門は、受賞なしであった。審査物件は現地審査に臨み、受賞の可能性を真摯に議論したが総意を得られず、選考基準のいずれかに該当しないという最終判断を下した。前年度に引き続き、住宅建築部門の受賞がないという結果は、たいへん残念だが、次回以降も都市美デザイン賞にふさわしい応募物件の自薦または他薦をお願いしたい。

特賞は、今回も該当なしであった。令和の時代初の特賞の誕生を期待する。

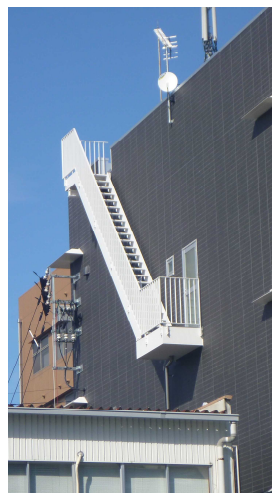
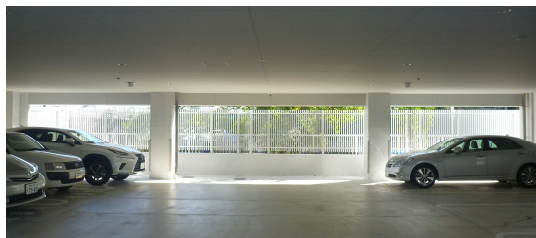
過去5年間の受賞一覧

実施回 (実施年)	受賞物件名
第30回 (2014)	モデルショップヨシオカ 北村商事本社ビル 文化を継ぐ家 町に佇む白い家
第31回 (2015)	ちより街テラス(増築工事) 角地の家
第32回 (2016)	織田歯科医院 高台の家 近森病院・近森リハビリテーション病院周辺の街並み
第33回 (2017)	高知県自治会館 静寂の家
第34回 (2018)	オーテピア

高知市景観審議会 会長 重山 陽一郎

福留開発新社屋

- 建築主…福留開発株式会社
- 設計者…株式会社細木建築研究所
- 施工者…北村商事株式会社



評

福留開発新社屋は、商業地域に建つ4階建ての鉄骨造の建物で、シンボリックなアーチ橋である鏡川大橋の北詰に位置している。南側は堀川に面して開けており、鏡川大橋などから建物のファサード全体や周囲の風景を眺めることが可能である。外観は殺風景になりがちな外部階段などの細部にまでも色彩計画がなされており、暗いグレーの地に白い格子のコントラストが映える端正な佇まいで、建物東側の小公園や堀沿いの樹木、水面に浮かぶ船などの周囲の景観とも調和し、これからの地域の景観をリードしていくことが見込まれる。

